### 2020 年度 授業計画(シラバス)

Ī	学	科	柔道整復スポーツ学科		科	目	区	分	専	門分野	授業の方法		講	髮
I	科 目:	名	基礎柔道整復学・概論Ⅱ	I	必修	/選	択の	り別		必修	授業時数(単位数)	60	(4)	時間(単位)
	対象学	年	2年生		学期	及て	曜	時限	前期	集中講義	教室名	第	2校台	<b>全</b> 302
	担当教	員	東 正美・専任	実務経験と その関連資格										

# 《授業科目における学習内容》

上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。

### 《成績評価の方法と基準》

定期試験課題100%

# 《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)

# 《授業外における学習方法》

毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。

### 《履修に当たっての留意点》

在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。

授美方			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 学年の位置づけを理解し、目標を設定すること。			各自で前学年次の総合
1	我形式	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション	配布資料	的な振返りを行うことが 必要である。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	目標を理解して、各々の行動計画を立てる。		振返りから、目標を選定
2	莪形式	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション	配布資料	する為に現状把握が必 要である。
第	講	授業を 通じての 到達目標	履修が終了した分野について、参照する資料を考察することができる。		前学年時に履修した各
3 回	義形式	各コマに おける 授業予定	2年次履修状況の確認	配布資料	科目の内容確認が必要 となる。
第	講	模業を 通じての 到達目標 履修内容について科目横断的な理解が出来る。			学年時における履修内
4 回	義形式	各コマに おける 授業予定	2年次履修状況の確認	配布資料	容を踏まえて、本年時の履修内容を確認する。
第	講	授業を 適じての 到達目標 た各テキストの記載内容が理解できる。			タニとっしのか初せたよ
5 回	義形式	各コマに おける 授業予定	2年次履修状況の確認	配布資料	各テキストの確認を行な う。

	<b>美の</b> 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	履修が終了した科目について、科目横断的な理解をし、使用し た各テキストの記載内容が理解できる。		各テキストの確認を行な	
6 □	我形式	各コマに おける 授業予定	2年次履修状況の確認	配布資料	谷ブイストの推認を11な う。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肩関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学•理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。必要に応じて解剖学	
7	<b>莪形式</b>	各コマに おける 授業予定	肩関節部の損傷-肩甲骨の骨折	(全国柔道整復 の	の教科書確認が必要となる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肩関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な	
8	我形式	各コマに おける 授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折1	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	☆ パーク 性 応 を 1 1 な う。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肩関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な	
9	我形式	各コマに おける 授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折2	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	<ul><li>つくいつが確認を行う。</li></ul>	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	肩関節における外傷を把握し、後療法を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な	
10回		各コマに おける 授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折3	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	台ノイヘトの推認を11な う。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肩関節における外傷を把握し、後療法を習得する。	配布資料 柔道整復学•理	各テキストの確認を行な	
11 回	我形式	各コマに おける 授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折4	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	台ノイヘトの推認を11なう。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕部の解剖と機能を復習し、理解を深める。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて解剖学	
12	我形式	各コマに おける 授業予定	上腕部の損傷-解剖と機能	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	の教科書確認が必要となる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕部における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学•理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な	
13	我形式	各コマに おける 授業予定	上腕部の損傷-上腕骨骨幹部骨折1	無無以引 第0版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	谷ブイストの推認を11な う。	
第	講義	到達目標   上腕部における外傷を忙旌し、柄態を理解する。   柔道鬼		配布資料 柔道整復学•理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な	
14 回	我形式	各コマに おける 授業予定	上腕部の損傷-上腕骨骨幹部骨折2	無無以引 第0版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	谷ブイストの推認を11な う。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	上腕部における外傷を把握し、後療法を理解する。	配布資料 柔道整復学•理	タテキフトの強靭を行わ	
15 回	義形式	各コマに おける 授業予定	上腕部の損傷-上腕骨骨幹部骨折3	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。	

#### 2020 年度 授業計画(シラバス)

学	科	柔道整復スポーツ学科		科	目	区	分	専	門分野	授業の方法		講	髮
科目	名	基礎柔道整復学・概論Ⅱ	I	必修	/選	択の	り別		必修	授業時数(単位数)	60	(4)	時間(単位)
対象等	学 年	2年生		学期	及て	曜	時限	前期	集中講義	教室名	第	2校台	<b>全</b> 302
担当	牧 員	東 正美・専任	実務経験と その関連資格										

# 《授業科目における学習内容》

上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。

### 《成績評価の方法と基準》

定期試験課題100%

### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)

# 《授業外における学習方法》

毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。

#### 《履修に当たっての留意点》

在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。

授美方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肘関節の解剖と機能を復習し、理解を深める。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて解剖学	
16 回	我形式	各コマに おける 授業予定	肘関節部の損傷-解剖と機能		の教科書確認が必要となる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肘関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて実技編	
17	我形式	各コマに おける 授業予定	肘関節部の損傷-上腕骨遠位部の骨折1		の教科書確認が必要と	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肘関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて実技編	
18	我形式	各コマに おける 授業予定	<b>肘関節部の損傷−上腕骨遠位部の骨折2</b>	無無以司第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	り。必要に応じて美权柵 の教科書確認が必要と なる。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肘関節における外傷を把握し、後療法を理解し後療法ができる ようになる。	配布資料 柔道整復学•理	テキストの確認を行な	
19	我形式	各コマに おける 授業予定	<b>肘関節部の損傷−上腕骨遠位部の骨折3</b>	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。	
第	講美	授業を 通じての 到達目標	前腕部における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学•理	テキストの確認を行な	
20	義形式	各コマに おける 授業予定	<b>肘関節部の損傷−前腕骨近位部の骨折1</b>	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。	

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 21 回	講義形	授業を通じての到達目標	前腕部における外傷を把握し、救急処置法を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版 (全国柔道整復	各テキストの確認を行なう。
Ш	式	おける授業予定授業を	肘関節部の損傷−前腕骨近位部の骨折2 	学校協会監修教科書) 配布資料	
第	講義	通じての到達目標	前腕部の解剖と機能を理解する。	柔道整復学•理	テキストの確認を行な う。 必要に応じて解剖学
22	形式	各コマに おける 授業予定	前腕部の損傷-解剖と機能	(全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	の教科書確認が必要となる。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	前腕部における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な
23 回	我形式	各コマに おける 授業予定	前腕部の損傷-前腕骨骨幹部骨折1	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	う。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	前腕部における外傷を把握し、後療法を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な
24 回	我形式	各コマに おける 授業予定	前腕部の損傷-前腕骨骨幹部骨折2	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	台/イクドッグ推覧を17な う。
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	手関節部の解剖と機能を理解する。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	テキストの確認を行な う。 必要に応じて解剖学
25 回		各コマに おける 授業予定	手関節部の損傷-解剖と機能	編編以訂第0版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	り。必要に応して解剖子 の教科書確認が必要と なる。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	手関節部における外傷を理解し、病態を把握する。 配布資料 柔道整復学・理 論編改訂第6版		タニナコトの変数を伝わ
26	我形式	各コマに おける 授業予定	手関節部の損傷-前腕骨遠位端部骨折1	編編以訂第0版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行なう。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	手関節部における外傷を理解し、後療法を身に付ける。	配布資料 柔道整復学·理 論編改訂第6版	各テキストの確認を行な
27 回	我形式	各コマに おける 授業予定	手関節部の損傷-前腕骨遠位端部骨折2	(全国柔道整復学校協会監修教科書)	う。
第	講義			柔道整復学•理	タニナットの変数を伝わ
28 回	我形式	各コマに おける 授業予定	手関節部の損傷-手根骨部の骨折	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行なう。
第	講	授業を 通じての 到達目標 手・手指の解剖と機能を復習し理解する。		テキストの確認を行な	
29 回	義形式	各コマに おける 授業予定	手・指部の損傷−解剖と機能	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	う。必要に応じて解剖学 の教科書確認が必要と なる。
第	講	授業を 通じての 到達目標	手・手指における外傷を理解し、後療法を身に付ける。	配布資料 柔道整復学・理	タニセフしの唯知も仁ム
30 回	義形式	各コマに おける 授業予定	手・指部の損傷-中手骨部の骨折	論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	各テキストの確認を行な う。